

西谷浄水場の再整備の進捗状況について

西谷浄水場では、安全で良質な水、災害に強く、環境にやさしい水道をめざし、耐震性が不足している施設の整備（ろ過池、排水池、導水路の整備）、水源の水質状況への対応（粒状活性炭処理の導入）、処理能力の増強（相模湖系統の水利権水量の全量処理）を目的に（図1）、浄水処理施設（図2）、排水処理施設、（図3）相模湖系導水路（図4）の再整備を進めています。

それぞれの整備工事で課題を解決しながら工程を管理しており、概ね順調に工事が進捗しています。

1 進捗状況

(1) 浄水処理施設

令和7年度は、凝集剤貯留棟および受電・自家発棟の築造と、既設配水池の解体（写真1）が完了しました。8年度は、沈でん池の改良と、ろ過池の築造に伴う掘削作業を進めます。

(2) 排水処理施設

令和7年度に、脱水機棟（写真2）や受電・自家発棟の築造が完了しました。8年度は、既設排水池の耐震補強を進めるとともに、脱水機の試験・運用開始および濃縮槽の機械設備更新を行います。

(3) 相模湖系導水路

令和7年度は、川井接合井シールドで約3,650m（進捗率63%）（写真3）、鶴ヶ峰接合井シールドで約240m（進捗率33%）の掘進が完了するとともに、西谷浄水場の立坑が完成しました。（図4）（表1）

令和8年度は、引き続きシールド掘進を進めるとともに、西谷浄水場からのシールドを9月頃の発進を予定しています。

また、旧旭瀬谷地域サービスセンターの立坑の施工を継続します。（表2）

2 事業スケジュール

施設の耐震化と処理能力の増強は令和12年度に、粒状活性炭処理の導入は、16年度に完了見込みです。

	R3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
浄水処理施設 (DB方式)				施設の耐震化・処理能力の増強 12年度完了見込								粒状活性炭処理の導入 16年度完了見込			
排水処理施設 (DBO方式)				施設の耐震化・処理能力の増強 9年度完了見込											
相模湖系導水路 (DB方式)				施設の耐震化・導水能力の増強 12年度完了見込											

3 今後のお知らせ（広報）について

本事業地は住宅地に近く、工事期間が長期に及ぶため、今後も地域住民の皆様への継続的な情報提供を実施していきます。

本事業が将来にわたって市民の皆様暮らしを支える重要な事業であることを広くお知らせするために、令和8年夏頃に、西谷浄水場の敷地内で、新たにインフォメーションセンターを開設します。

インフォメーションセンターの内容

西谷浄水場の完成模型、パネル展示、工事等のビデオ上映、現場見学会のVR体験

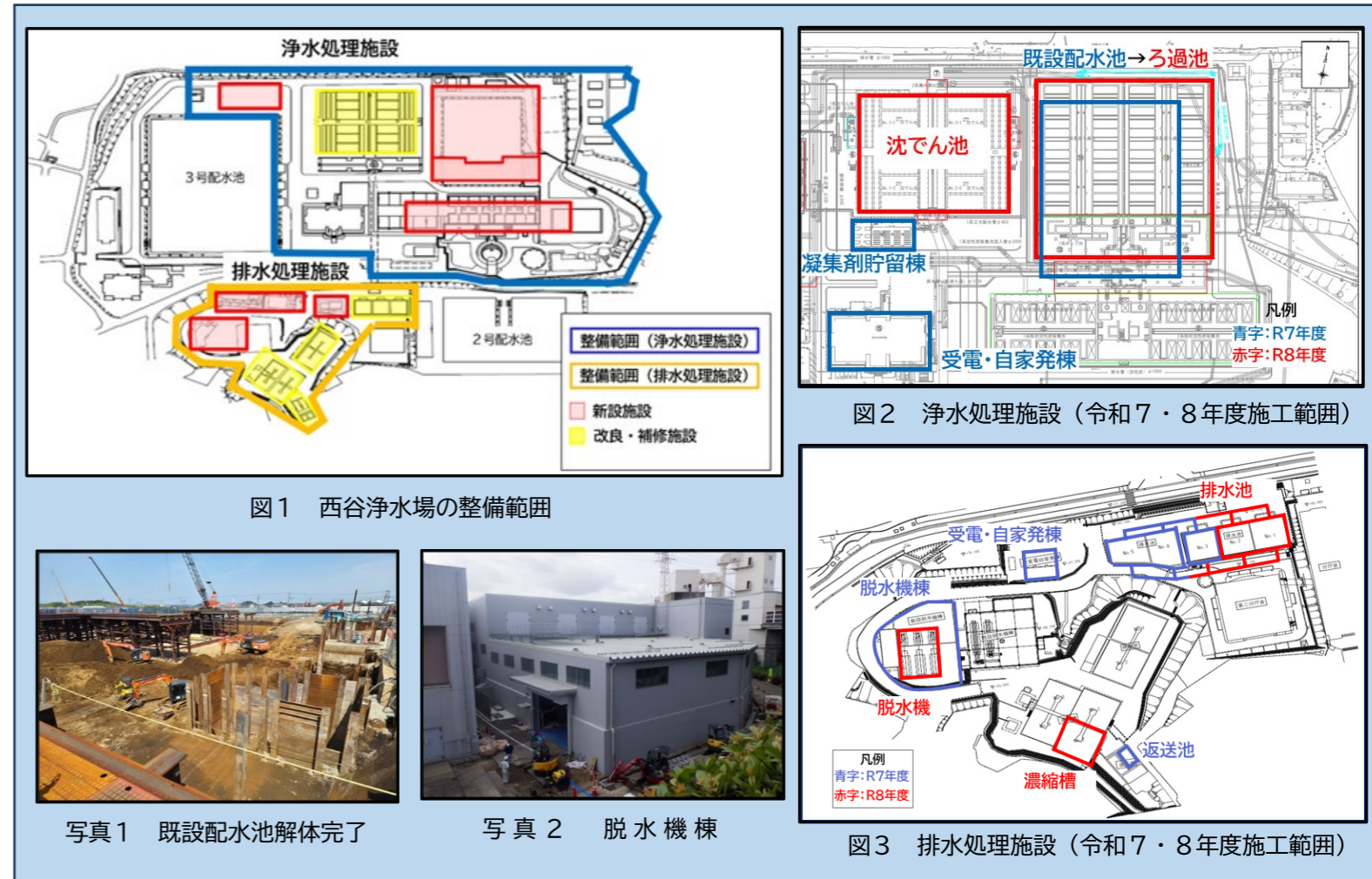


写真1 既設配水池解体完了



写真2 脱水機棟

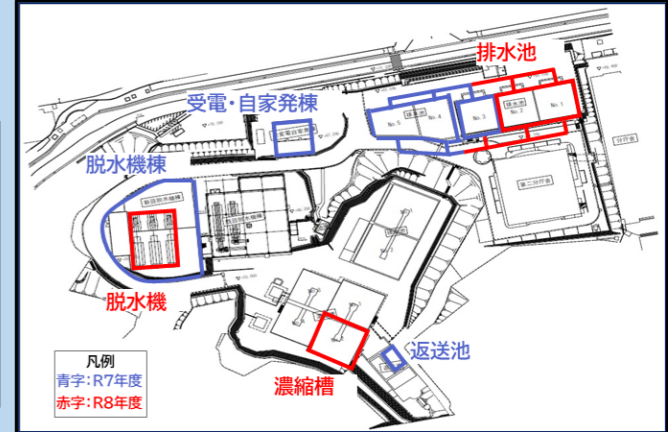


写真3 トンネル坑内(川井接合井)

表1 シールド工事

	発進地点	到達地点	計画延長	進捗状況	進捗率
①	川井接合井		5,786m	約3,650m掘進完了	63%
②	鶴ヶ峰接合井	旧旭・瀬谷地域サービスセンター	716m	約240m掘進完了	33%
③	西谷浄水場		2,750m	R8年9月頃発進予定	-

表2 立坑築造工事

	施工箇所	進捗状況	進捗率
A	西谷浄水場	R7年度 完成	100%
B	旧旭・瀬谷地域サービスセンター	R7~R8年度 継続施工	73%